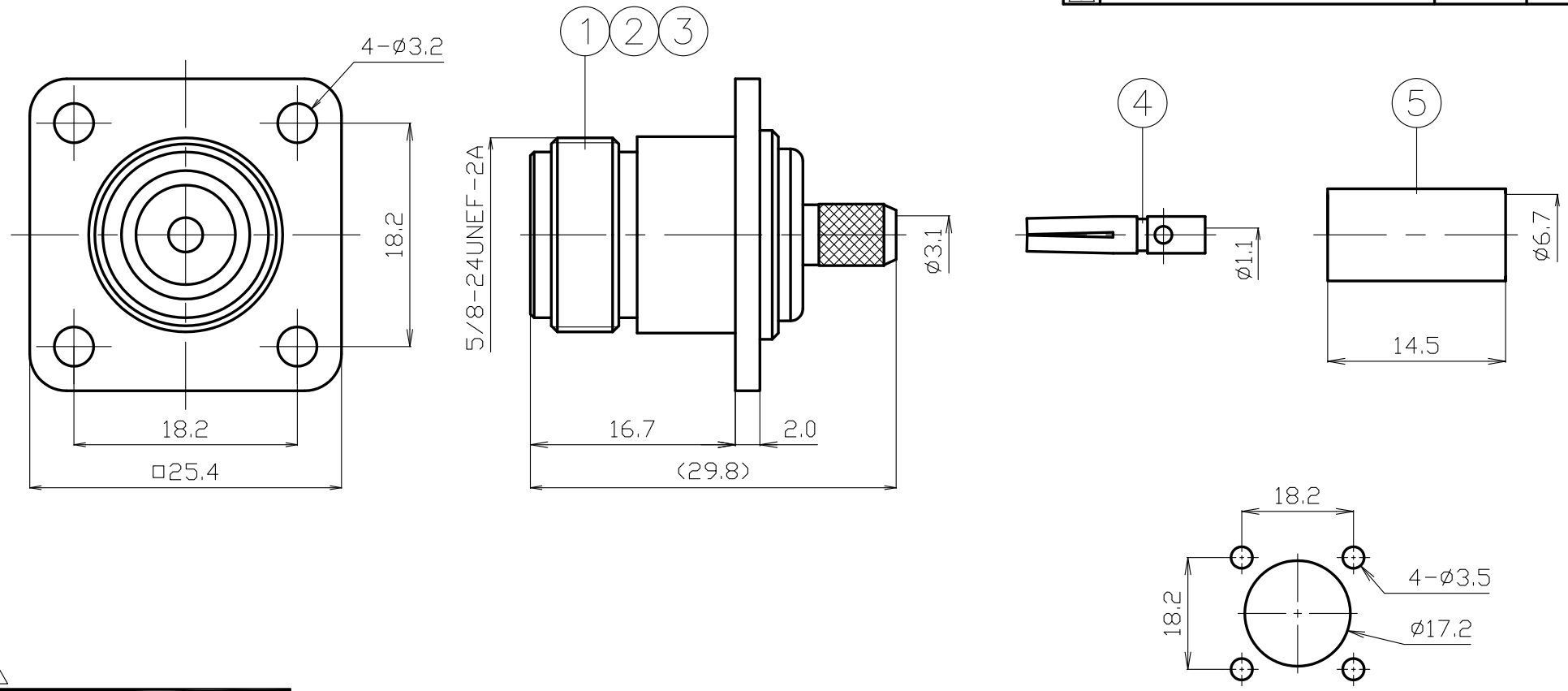


番号	変更・記事	日付	確認
△	社名変更	2012.01.05	済
△	図面外観化、RoHS表記追記	2017.02.06	(山本)
△			



取付穴参考寸法

RoHS Compliant [Cd ≤75ppm]

REMARKS	BRASS: Cd ≤75ppm PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%
---------	---

7					尺度	2/1	製図	検図	承認	確認	品名			
6							渡邊	檜	山	三	N-PJ-3WA			
5	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni		'17.02.06	'17.02.06	'17.02.06	'17.02.06					
4	中心コンタクト	リン青銅	1	Au		直弘	澤	本	村					
3	ホルダー	黄銅	1	Ni	単位									
2	絶縁体	テフロン	1	--	mm									
1	シェル	黄銅	1	Ni	日付	2005.10.11								
番号	部	品	名	材	質	数	量	処	理	備	考	図	番	S-0521273

投影法

株式会社 トーコネ
TO-CONN CO., LTD.

仕 様 書

品 名 N-PJ-3WA

No. 0521168

図 番 S-0521273

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.01.05 本	檜 12.01.05 澤	山 12.01.05 口

	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 S-0521273)	異常のないこと
2			
3			
4	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ 以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ 以下
7	特 性		
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	ケーブル接続強度	軸方向引張力 147N以上	異常のないこと
10	雌コンタクトの保持力	規格ピンゲージ0.98N以上	異常のないこと
11	取付部強度	引張力500Nを加えたとき	異常のないこと
12	繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は10mΩ 以下

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 01. 05
2		
3		

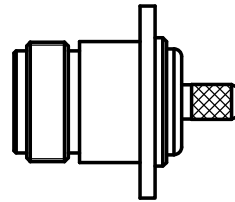
N-PJ-3WA 取付仕様書

図番 S-0521273



作成	確認
山 '12.01.05 口	山 '12.01.05 本

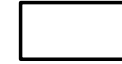
部品構成



シェル

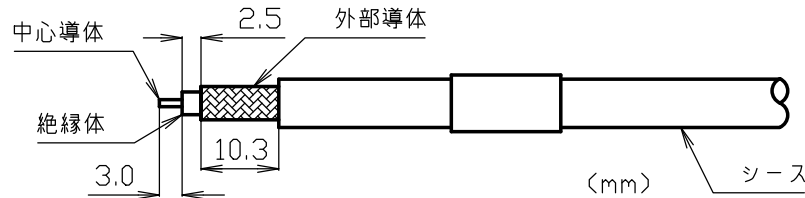
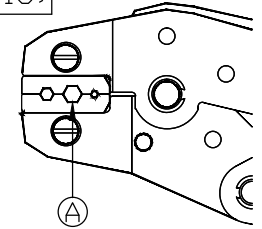


中心コンタクト



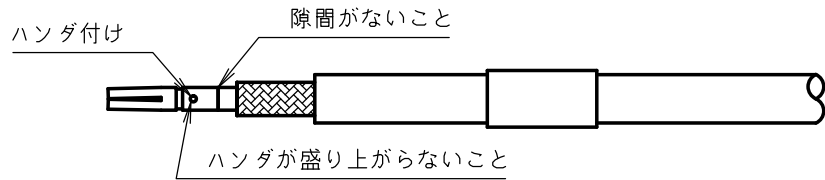
圧着スリーブ

専用圧着工具
TA-34
(本体表示: DCC 1113)



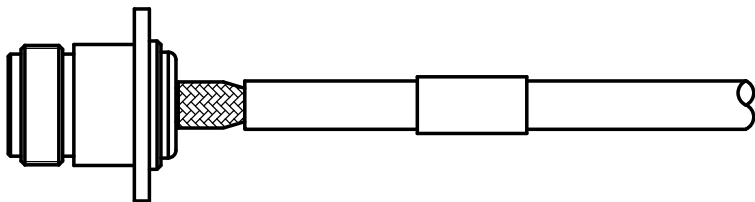
番号	変更・記事	日付
△1	社名変更	2012.01.05
△2		
△3		

① 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シース、絶縁体、外部導体を図中の寸法で切りとる。

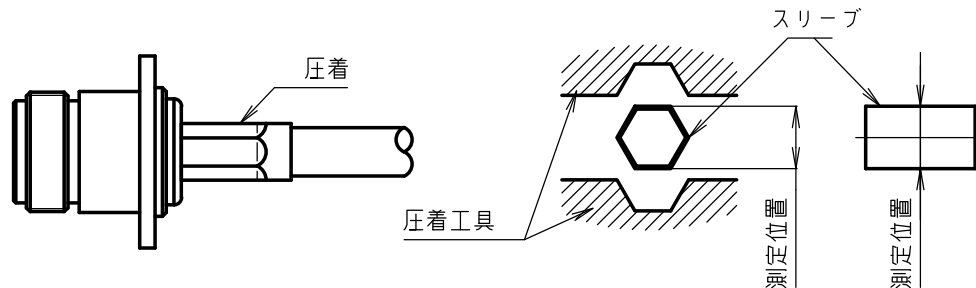


② 中心コンタクトを中心導体に装着し、ハンダ付けをする。
注意：1,ハンダが盛り上がらないこと。
2,中心コンタクトと絶縁体の隙間がないこと。

ハンダ付け後、中心コンタクトを引張り抜けないかを確認すること。



③ シェルを同軸ケーブルと絶縁体と外部導体の間に装着する。
(この時プチンと中心コンタクトが定位置に入ったことを確認する。)



④ 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を完了する。
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプ高さにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

強度調節ダイヤル

強度調節ダイヤル位置 2以上
測定位置でのクリンプ高さ6.55~6.60mm

